

JPR、キューピー、サンスター 3 社共同輸送を開始

～特性を活かした混載により高い積載重量とコンテナ空間の有効活用を同時に実現～

日本パレットレンタル株式会社(代表取締役社長:加納尚美、本社:東京都千代田区、以下JPR)は7月18日(木)から、キューピー株式会社(代表取締役 社長執行役員:長南収、本社:東京都渋谷区、以下キューピー)、サンスター株式会社(代表取締役:吉岡貴司、本社:大阪府高槻市、以下サンスター)の3社共同で、トラックと船舶を組み合わせた共同輸送を開始します。モーダルシフトによるCO₂排出量削減はもちろん、業種を超えてキューピーとサンスターの特性の異なる商品を混載することで積載効率の最大化、帰り荷にJPRのレンタルパレット輸送を組み合わせることで高い実車率を実現します。

関西・九州間で、業種を越えた共同輸送を開始

共同輸送を実施するのは、関西と九州をつなぐ輸送ルートです(キューピーおよびサンスターが関西から九州へ、JPR が九州から関西へのルート)。この一部を船舶に置き換え、往路はキューピーとサンスターの荷物を混載し、復路は JPR の輸送用レンタルパレットを積載することで、輸送効率を高めます。混載の対象商品は、マヨネーズやドレッシングなどの調味料とハミガキやハブラシなどのオーラルケア商品です。

高い積載重量とコンテナ空間の有効活用を同時に実現

マヨネーズやドレッシングなどの重量品を輸送する場合、最大積載量^{*1}を満たしても、コンテナの空間が余ってしまう場合があります。一方で、オーラルケア商品のような軽量品は、コンテナいっぱい積み込んでも最大積載量を満たさない場合があります。今回の取り組みでは、従来各社で手配していた 10 トン車を 20 トンの 13 メートルセミトレーラーに変更し、重量品と軽量品を組み合わせることで輸送することにより、コンテナ空間を有効活用し、より多くの荷物の輸送に成功しています。



キューピーとサンスターの商品をうまく組み合わせ、13 メートルセミトレーラー(20トン)を満載にする

輸送ルートのマッチングにより実車率99%^{*2}を実現、CO₂排出量は65%低減

この取り組みでは、行き荷と帰り荷のマッチングをすること、3社の物流拠点を効果的に回ること、約99%の高い実車率を実現できます。また船舶へのモーダルシフトや輸送の効率化により、個社単位での輸送と比較し、CO₂排出量が65%低減します。併せて、長距離の陸送がなくなることで、ドライバーの年間の稼働時間が2256時間削減できると想定され、労働環境の改善効果も期待できます。

※1 最大積載量：車両が安全に走行するために積載できる荷物の限度重量。

※2 実車率：総移動距離のうち実際に貨物を積載して移動した距離の比率。本取り組みでは、全行程 1169km のうち空車は 7km。

JPR、キューピー、サンスターは、2018年11月から共同輸送の検討を開始しました。2019年1～6月のテスト期間を経て、7月18日（木）から本格的に開始します。

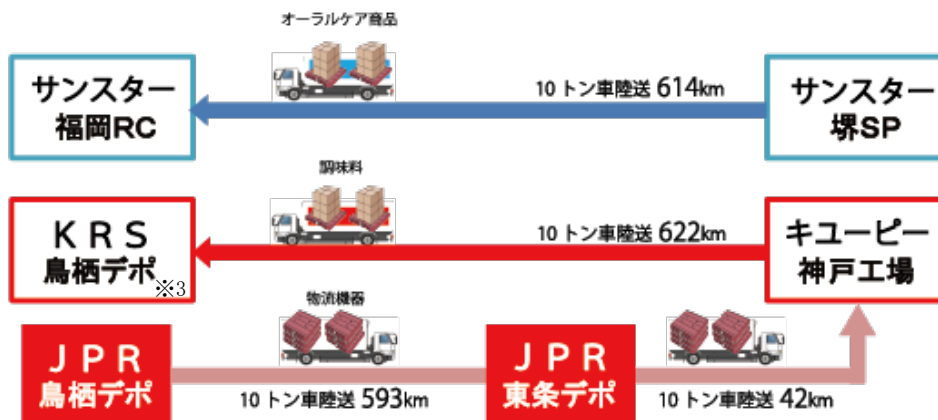
現在、3300の法人・63000を超える拠点で年間のべ4500万枚のJPRレンタルパレットをご利用いただいています。パレットの動き＝荷物の動きを知るJPRだからこそ、お客様同士をつなぎ、物流効率化・省力化のご提案を行っております。JPRは今後も、持続可能な物流網の構築を進めることで、物流業界の抱える課題解決に貢献してまいります。

【取り組み概要】

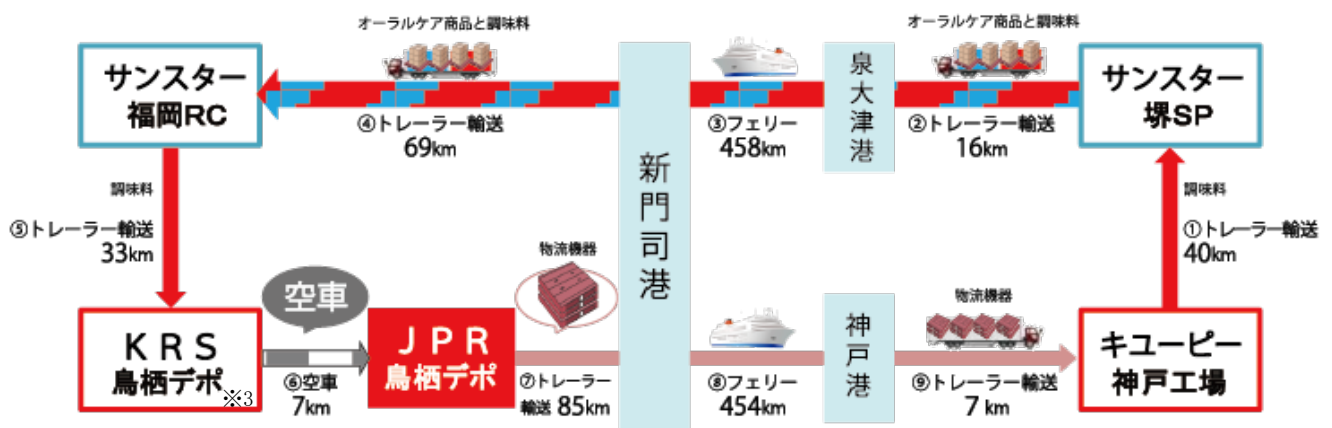
1. 運用面について

■運用フロー

従来 各社が10トン車を用い陸送



今回の取り組み 3社が20トントレーラーを用い効率的に輸送



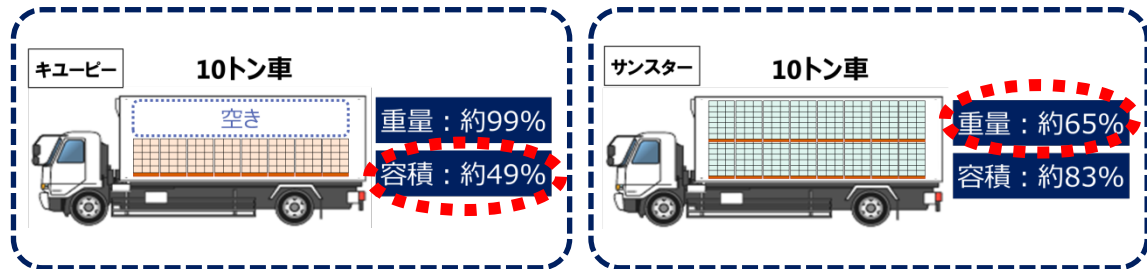
※3 KRS:株式会社キューソー流通システム

・物流会社について

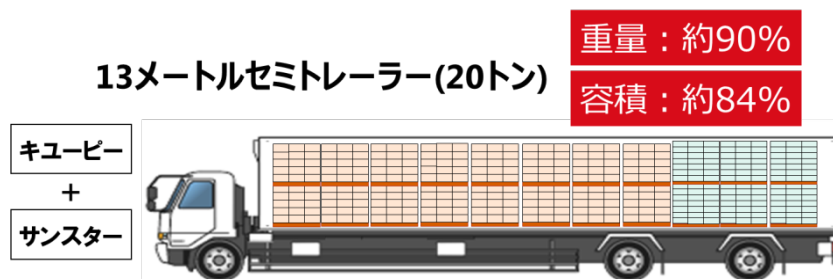
関光汽船株式会社(代表取締役社長:入谷 一成、本社:山口県下関市)が全工程の輸送の手配をし、海運については阪九フェリー株式会社(代表取締役社長:小笠原 朗、本社:福岡県北九州市)所有のフェリーで輸送を行います。

■積載イメージ(記載の数値は一例です。商品の構成によって変わります。)

従来 1社ごとの輸送では、重量や容積が有効活用できていなかった



今回の取り組み 2社を組み合わせることで重量と容積の双方を有効活用



2. 積載対象商品

JPR : 物流機器(輸送用レンタルパレット)

キュービー: 調味料(マヨネーズ、ドレッシングなど)

サンスター : オーラルケア製品(ハミガキ、ハブラシなど)

3. 本取り組みのポイント

- ①高い積載重量とコンテナ空間の有効活用を同時に実現
- ②実車率99%、CO₂排出量65%低減
- ③業種を超えた3社の協働で積載効率と輸送効率の両方を最大化

4. 期間

2019年7月18日(木)から開始

■ このニュースに関するお問い合わせ先

日本パレットレンタル株式会社 経営企画部 広報グループ

Tel: 03-6895-5200 / Fax: 03-6895-5201 / Mail: pr@jpr.co.jp / URL: <https://www.jpr.co.jp>